



MADOKA CROSS NANOHA EPISODE 03

pueta magi madoka magica meets magical girl lyrical Nanoha
2012 summr Comic Market 82
MASULAO MAXIMUM presents Madoka Magica fanbook



MASULAO MAXIMUM
NAGI KAZEKAWA

12.08.12

Comic market 82

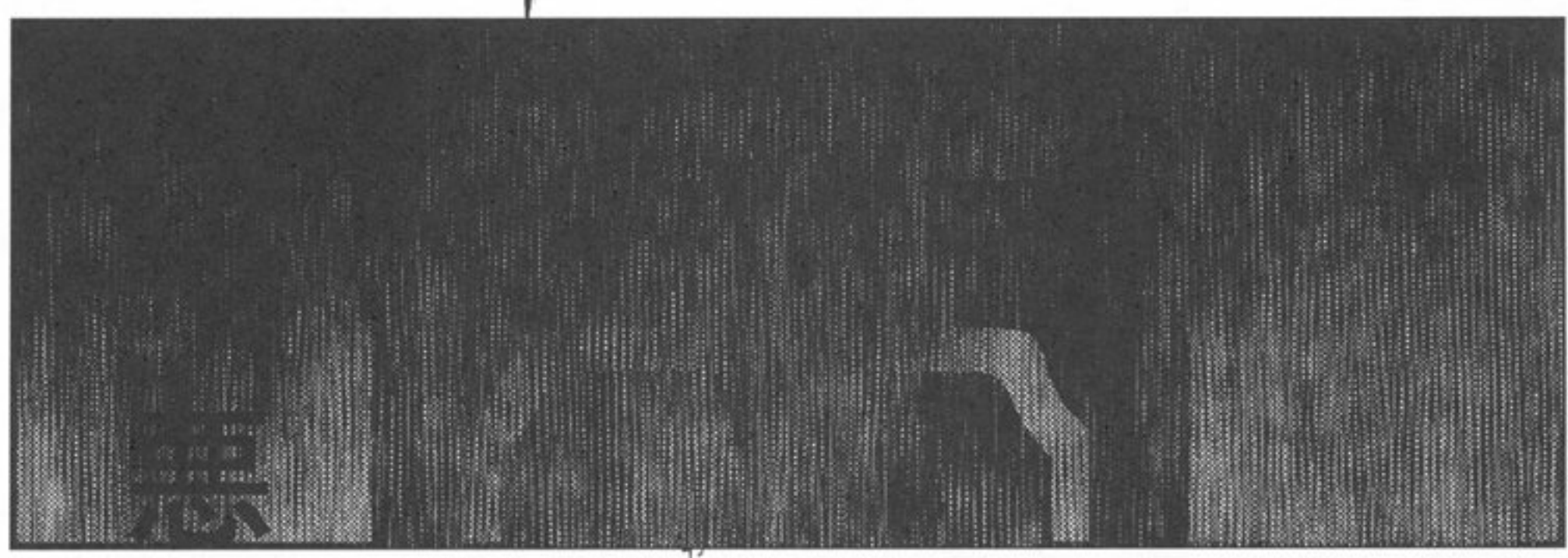
MASULAO MAXIMUM

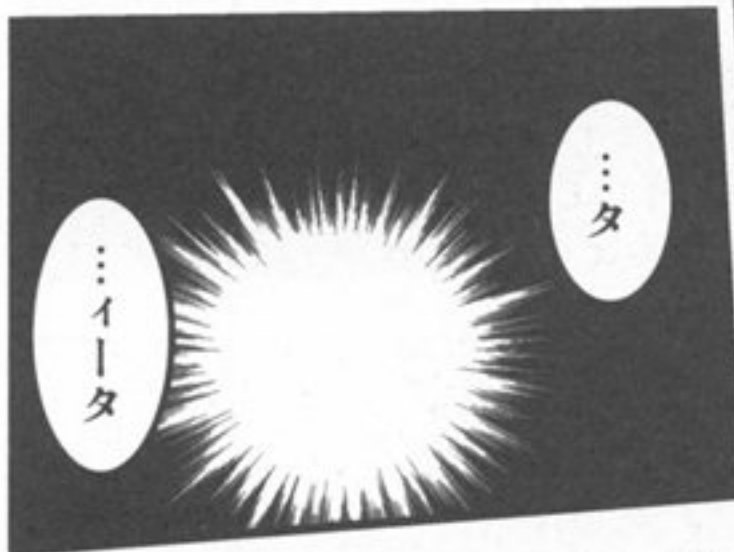
Nagi-Kazekawa

<http://masulao.aquasky.jp>

masulao@avone.jp

Printed by Print mouse





ん

ちや

うん…
こんくらい
なんともない

そっかあ


ヴィータは
なんとも
ないかあ

さあ
見ておくといい
暁美ほむら

あれが
ソウルジェムを
持たずに魔女と
対峙した結果だよ

えっ…？

ん…



そんな
血まみれの手で
アタシの手を
掴んでも

ウィータは
なんとも
ないんやね

どんな強力な
魔法を操り
強大な戦闘力を
持っていて

感情を持って
いる限り
絶望の前には
屈するしかない

数々の絶望を
見てきた君になら
理解できるんじや
ないかな

ウィータが
どう思ってるか
どうか知らんけど

アタシは

こんな
罪まみれに
なりとう
なかつたなあ

絶望で人は
殺せるのさ



MADOKA

X
CROSS
X

NANOHA

こんにちは。風川なぎです。
まどかクロスなのはもこれで3冊目。
あまり続きもの描いた経験が無いので
探し探りやっていたらいつの間にかページが
どんどん増えて行ってしまい、今回は64Pに…

無理矢理ページを増やしたせいで、
所々トーンが張ってなかったり、
荒い線だったりとお見苦しい所が
多くなってしまいましたがお許しを…

それではMADOKA×NANOHA episode 03
はじまります。



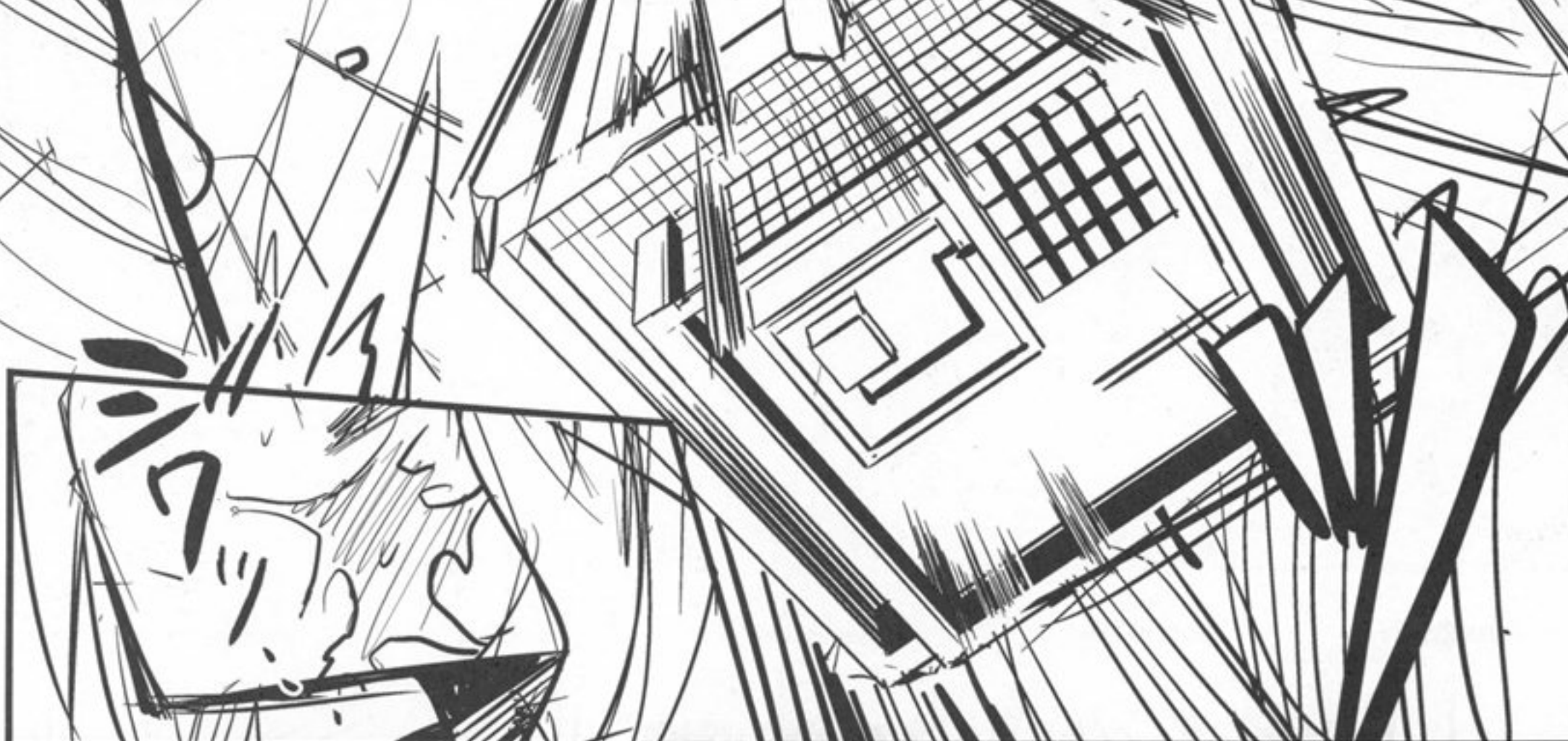


いくよ
フェイトちゃん!

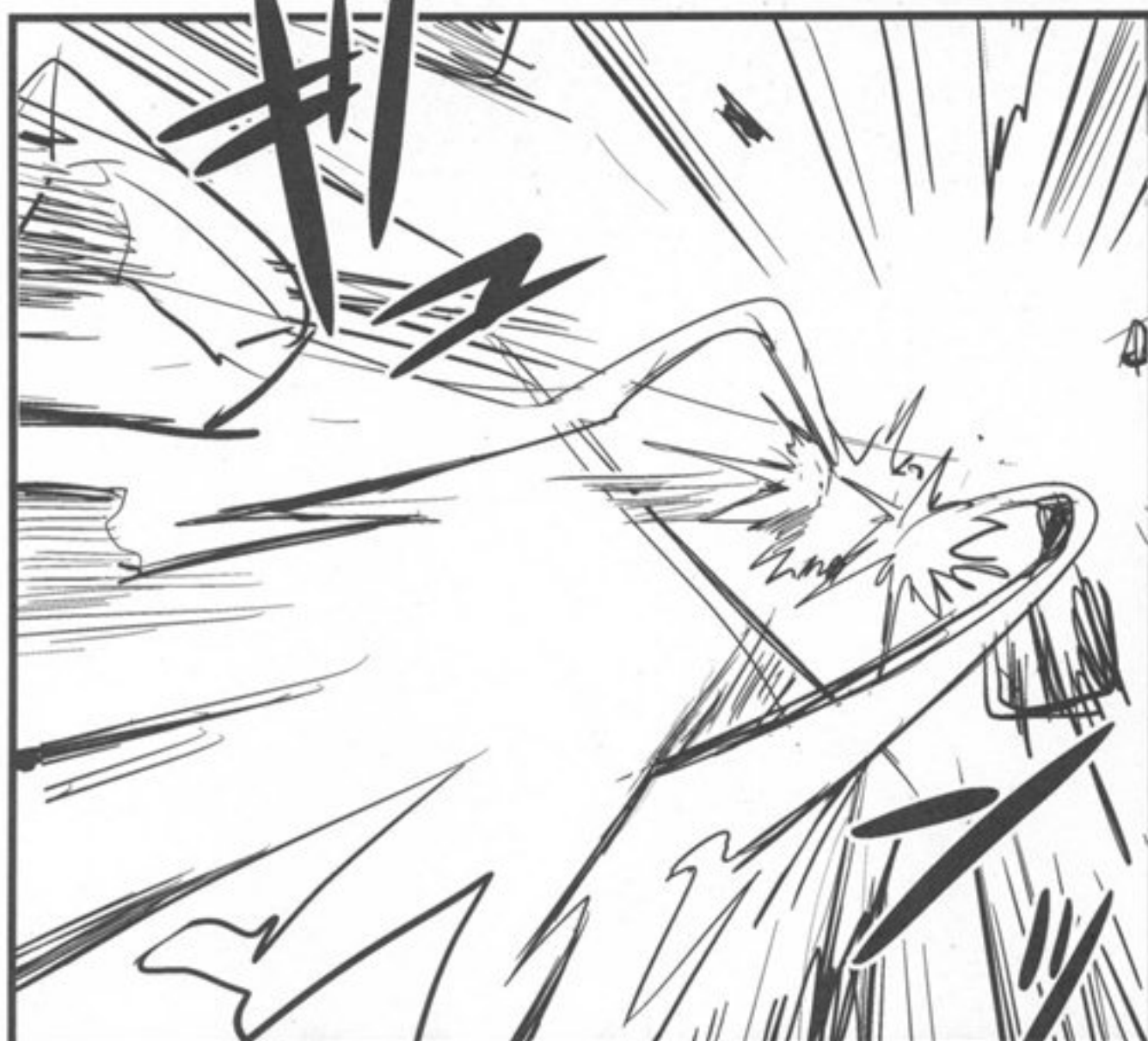
うん!











多分ヴィータが
やられたのは
さっきの黒い影だ

私は欠片を浴びた
だけだったから
ほんの一瞬
だったけど

凄い嫌な感情で
頭がいっぱいになって
頭どころか体もまで
引き裂かれそうだった

それにあの影達…
ミッドとも
ベルカとも
魔術様式が違う
私達のシールドを
通り抜けてくる上
直接触れられると
即戦闘不能…



切り抜けるよ
なのは！

お願い
フェイトちゃん！

カッ
カッ
カッ

ホッ
ホッ
ホッ

くっ…



それに…

あんな
チャージタイムで
凄い威力…

建物や岩も
大きさ関係なく
飛ばせるようだし

シューウウウウ…



私達だけじゃ
ちよつと厳しい
かな…



無尽蔵の
使い魔達との
コンビネーション









ヴィータ…

今お前がああ黒い影に心を支配されて正気を失っているのはわかる

だがもし次に主へ刃を向けるような事があれば



容赦なく切り捨てるぞ



ヴィータなら戻ってきてくれる…絶対に…



このままじゃ同士の討ちになっちゃう!!
時間がかかってもいいから守護騎士システムの再起動を…

いや…大丈夫や

どうだい
暁美ほむら

君達はソウルジェムに
対して嫌悪感を示して
いたけれどこれで
有用性がよくわかった
だろうか？

彼女らのように
いくら強大な力が
あったとしても
ソウルジェム無しに
負の感情や
絶望の具現化である
魔女と対峙する事など
不可能なのさ

それどころか
彼女ら程の力を
持つ者達の絶望は
ワルプルギスの夜に
とって格好の
エネルギーになる

君達には悪いけれど
エネルギーの回収を
目的にしている
僕らにとっては
ありがたい位だ

というわけで
彼女らが居た所で
戦いの結果は
変わらないだろうね

……るさい

そして
ソウルジェムを
持つ君達も
ワルプルギスの
夜には勝てなかった

うるさい

残された道は
まどかが…

黙れ!!

これだけの
状況になっても
君はまだ
自分達の力を：
人の力を
信じるのかい？

信じる！


信じてみせる!!

まどかとの
約束は…!!!


そうだ…私が
信じなければ

繰り返し
続けた
時間は

ええええええ



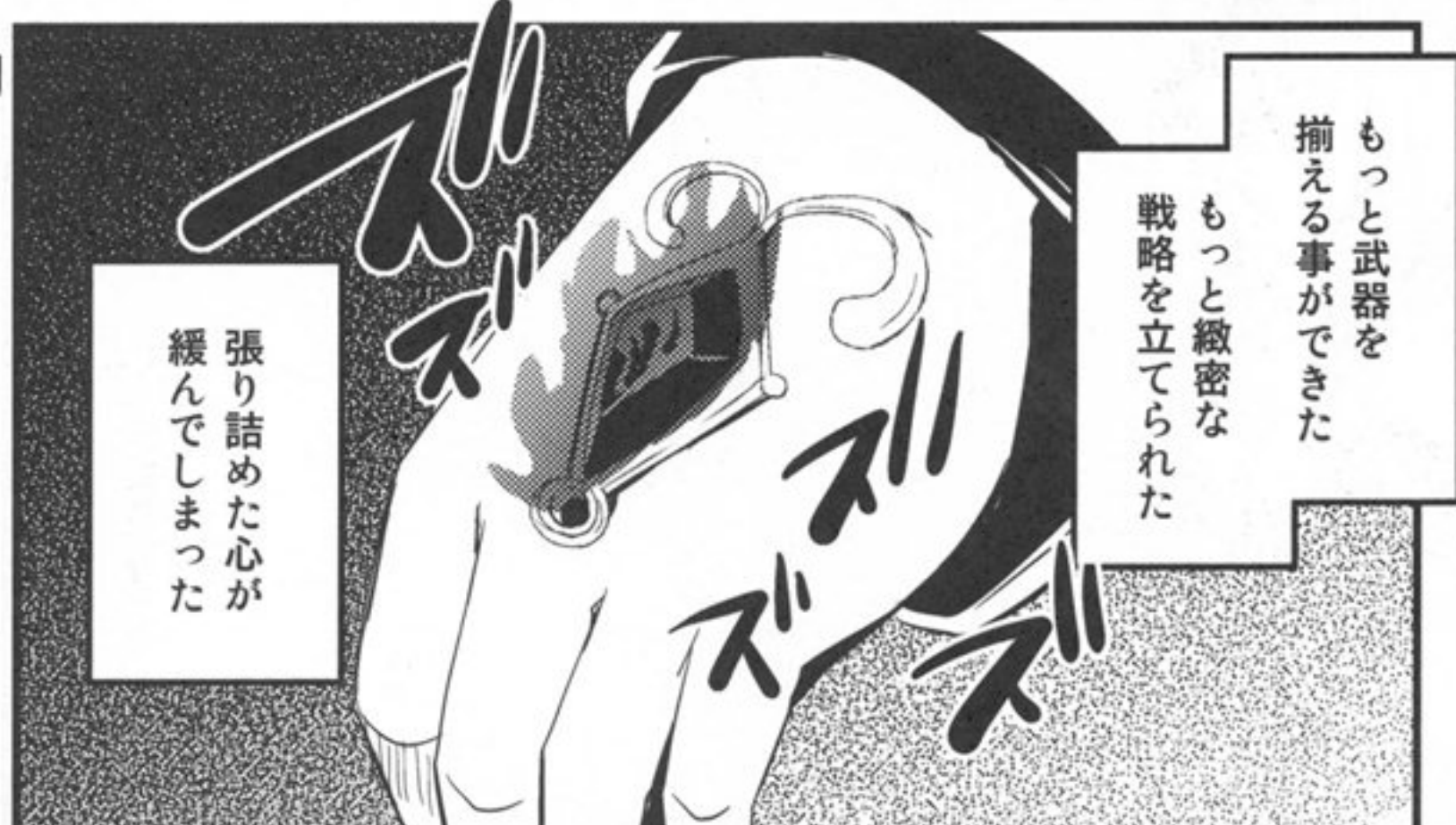
何故
こうなったの
だろうか



無駄話を
していた時間に
何が出来た

言い合いを
していた時間に
何が出来た

大勢で
居た事で
何を失った



もっと武器を
揃える事ができた

もっと緻密な
戦略を立てられた

張り詰めた心が
緩んでしまった







ああ…そうか
頼るべきじゃ
なかったんだ

やっぱり貴方達は
私達ソウルジェムを
持つ魔法少女に
関わるべきじゃ
なかった







そして私達も
あんた達に
頼るべきじゃ
なかった



そうだ
頼るべきじゃ
なかった



魔女だけじゃない
あたし達に
関わった人達は
皆黒い感情に
飲み込まれていく



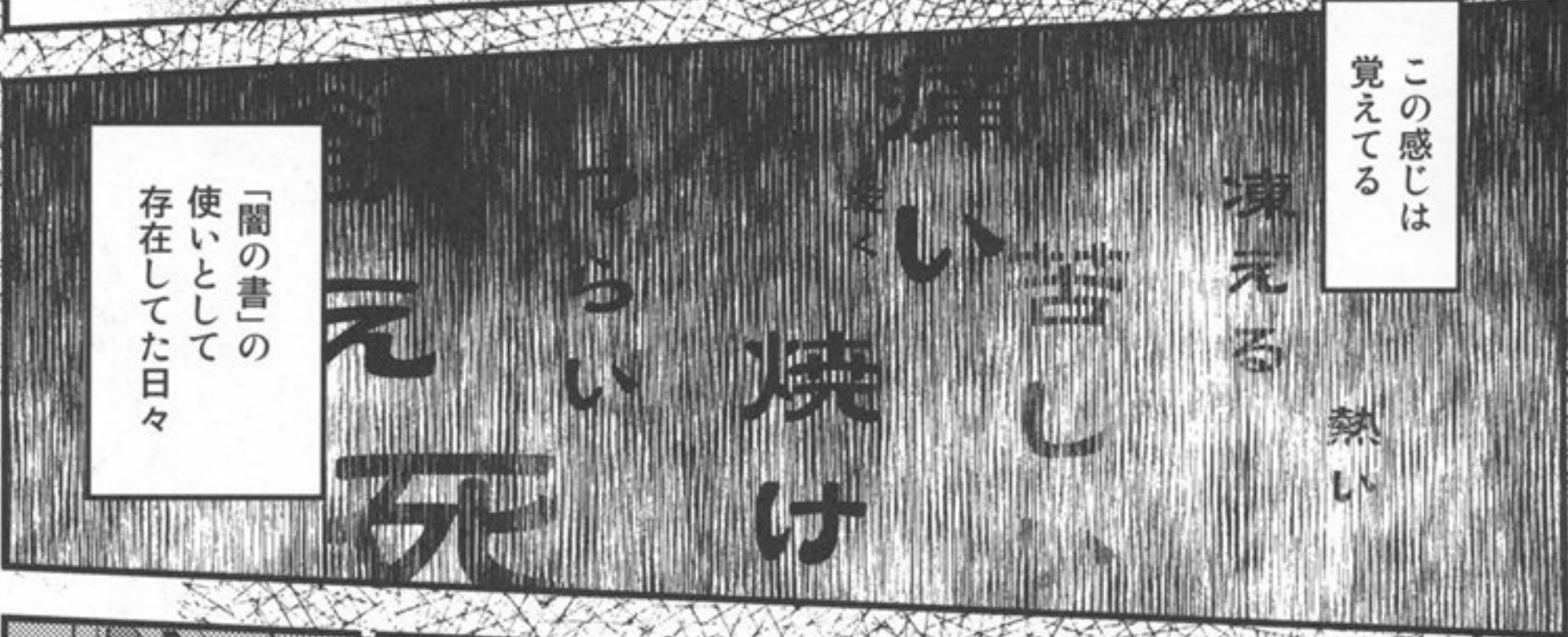
誰かに頼ろうと
するのはもう

終わりにするよ



身体が
痛い
からだか
熱い

身体が
動かない



この感じは
覚えてる

「闇の書」の
使いとして
存在してた日々

凍える

熱い

死

焼

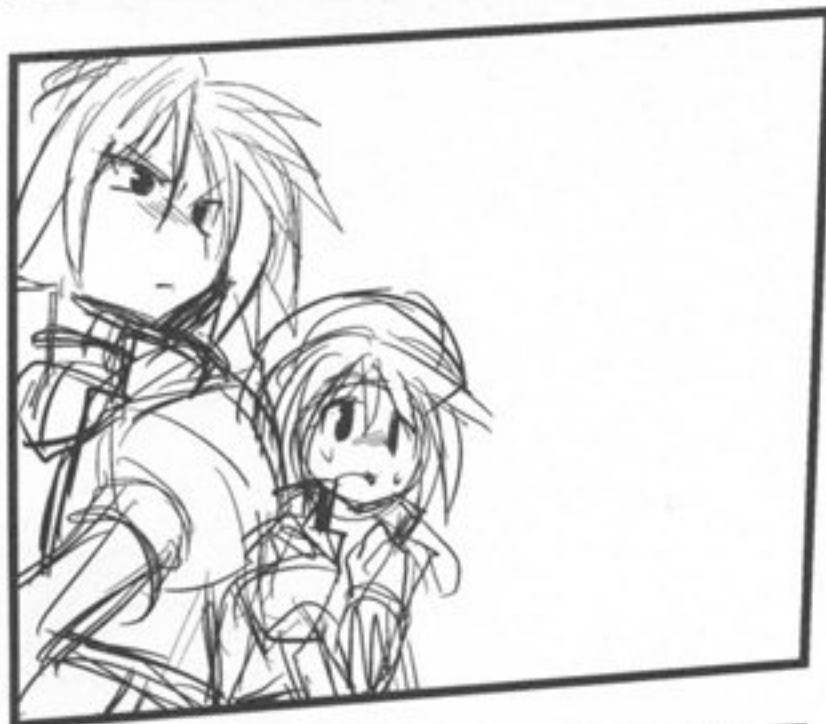
苦し



いつも心は
乾いてて

血を浴びた
身体は熱いのに
心は凍えるように
寒かった

知ってるか？
絶望に染まって
狂っちまった
人間の末路を





ヴィータは

そんな汚れた
身体であたしに
触れたんやね

違う
はやてはこんな
事言わない

だって
はやては…



いつだって
明るくて

優しくて

怒る時は
怒ってくれて

でもいつだって

そうー
いつだって
家に帰れば

はやてが
作ってくれた
温かなー

恨むなら
私達を恨んで
くれていいわ

その恨みも
私達が負うべき
運命だから

誰かに頼る事で
心が揺れるなら

私は
私だけを
信じればいい

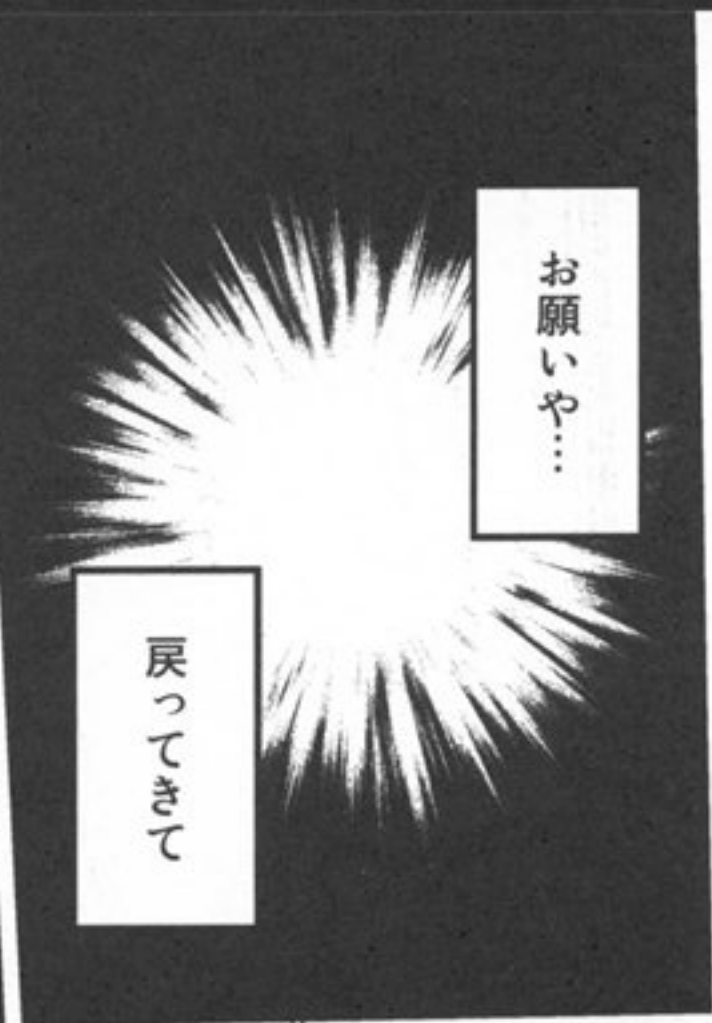
もう誰にも

あたしら
魔法少女の絶望に
巻き込むのは
お前で最後に
なる事を祈るよ

頼らな——



ヴィーダ!!



お願いや...

戻ってきて



はやてーっ!!


今日の晩御飯





何ーっっっっ！！






お肉
沢山ある？

うん
奮発しよか


デザートも
食べていい？

ヴィータの
好きなだけ
食べてええよ



そのかわり

お腹壊さん
ように
するんやで



ありがと…
はやて

よっしやあああ!!



シヤマル!!
今!

はっ!!
はい!!



旅の鏡!!



シグナム!

はっ!!





大!

復!!





あーこははは!!



ひーっ!!
腹痛い!!

ウケる!
超ウケる!!



なんだそれ!
お前ら凄いな!
晩飯の献立
聞いて回復!?



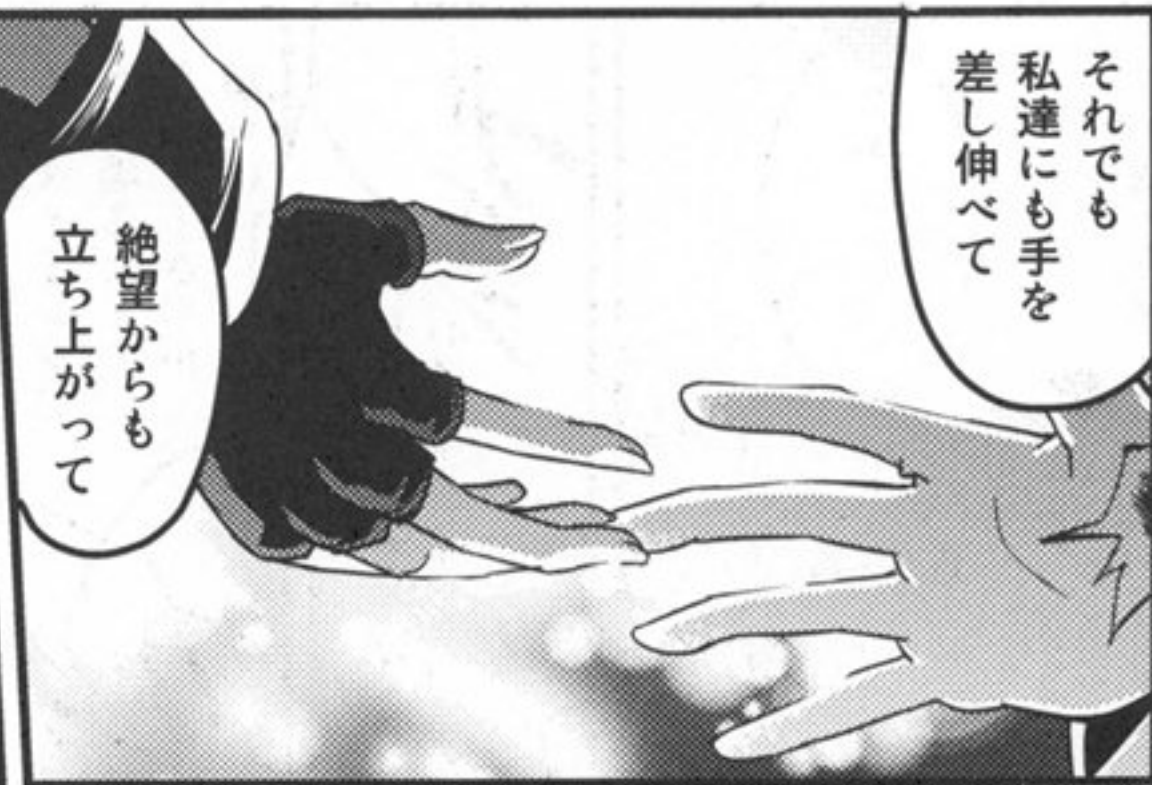
あの子達

いろんな物を
背負って戦って
って言うってた



杏子
笑い過ぎ

あいた!





おーい!



あいたー!

このタイミングで
腹が鳴るとか!
うける! さやか
超うけ

かああ



あーっほっほ

戦うために
感覚を断ってたから
忘れていたけれど
私達もちゃんと
お腹は空くのね



...



みんなも一緒に
鍋食べよなー?



頼る頼らないとか
巻き込むとかどうとか

色々考え過ぎて
頭ん中まだ
ごちゃごちゃ
してっけど

一つ確かな事は

一人ぼっちで食う
飯よりは

大勢で食った方が
美味いって事だな

わけが
わからないよ





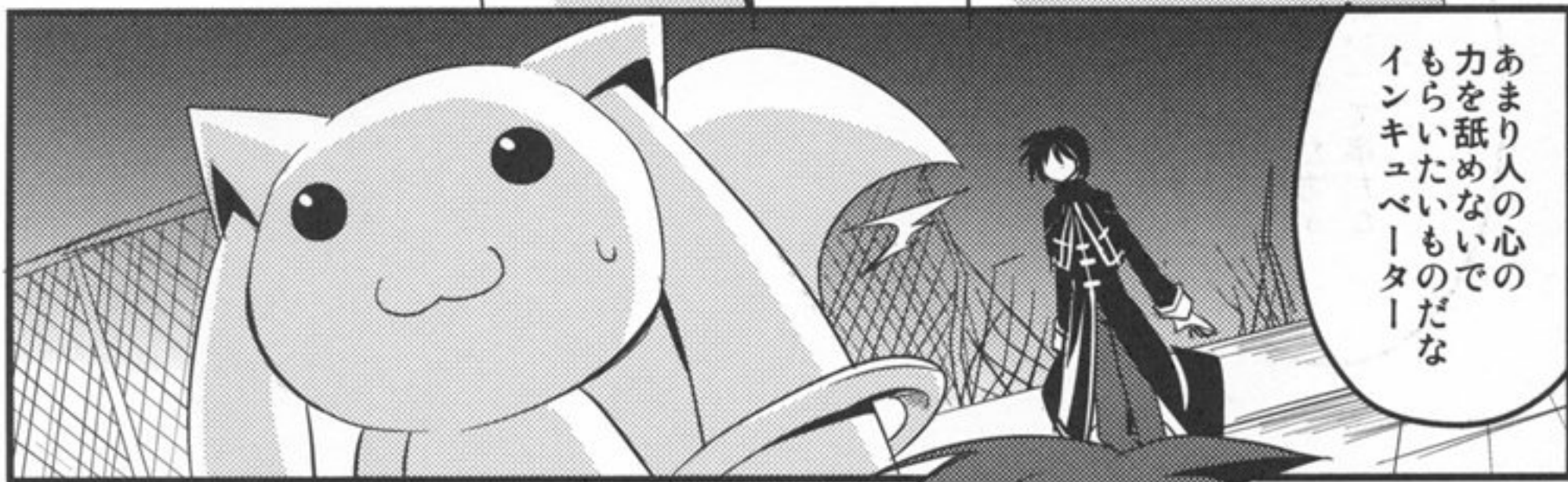
使い魔の与える
絶望から自力で
立ち直っただって？

しかも
食事への
欲求で…!?

前例がない

信じられない！

理解不能だ!!



あまり人の心の
力を舐めないで
もらいたいものだな
インキュベーター



…何？

さて…言いたい事
聞きたい事もあるが
あまりゆっくりも
してられない
まず君に頼みたい
事があるんだが
いいか？



人間をただの
エネルギー源だと
思っているのなら
大間違いだ



…

自分達の利用する
力が未知の物だという
事を覚えておくんだな



もし貴方にまだ
戦う意思が
あるのなら



ワルプルギスの夜と
その使い魔達は
僕らが事前に調べた
魔女達とは段違いの
厄介な相手だった

ワルプルギスの夜
討伐に際して
僕達への協力を
頼みたい



向こうの3名の
方々の分も
あります



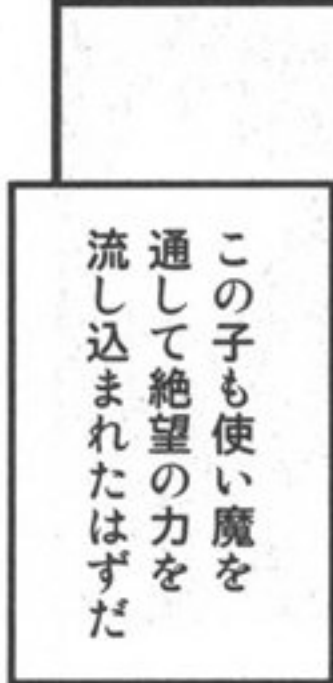
魔女の調査の際
手に入れた物です

これを
受け取って
もらえませんか



元々私に戦いを
やめるという
選択肢はないわ

この子は…



この子も使い魔を
通して絶望の力を
流し込まれたはずだ

絶望から
立ち上がるのは
簡単な事ではない

私達より遙かに
幼いその身で

一体どんな
経験を積み
どんな絆で
結ばれれば

この戦いの
最中に

こんなにも
真っ直ぐな瞳を
してられる
のだろう

貴方達は
なんで—

…いえ
なんでも
ないわ

…聞いた所で
何が変わる
わけでもない

私はただ
まどかとの約束と
自分自身を信じる
だけ—

私達は
時空管理局という
組織に所属する
魔道師です



私はあの
白い服の子に
救われたんです



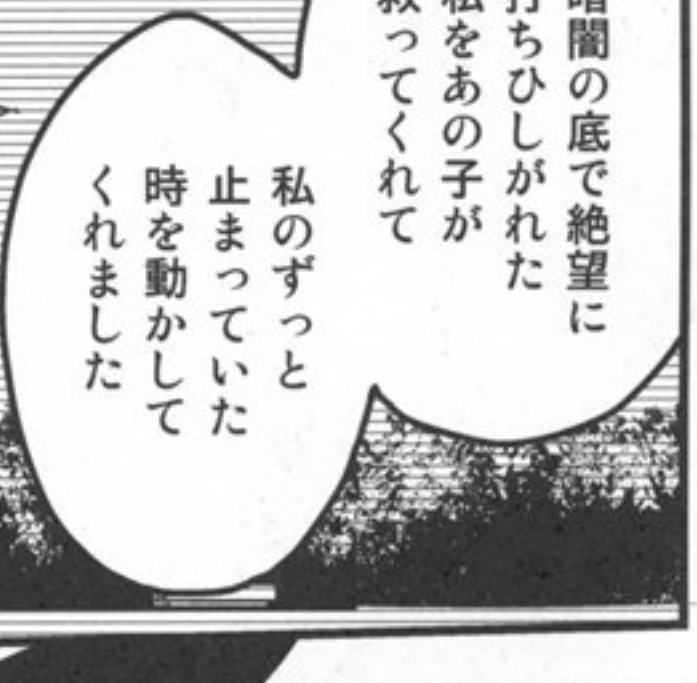
様々な世界の
魔法による
災害を防ぐ事が
目的……

というのが
建前で

ここからは私個人の
話になっちゃうん
ですけど



あの子に出会って
私は初めて自分を
始められた



暗闇の底で絶望に
打ちひしがれた
私をあの子が
救ってくれて

私のずっと
止まっていた
時を動かして
くれました



止まった
時を……

だから私も
そんな風に
誰かを救える
ようになりたい

あの子が
居なかったら
今私はここに
居ないでしょう

そう思っ
ています



貴方にとって
その子の事は
とても
大事なのね



あっ…す
すいません

わざわざ
一度取り下げた
質問への丁寧な
回答感謝するわ



はい…
そうですね



”なのは”は

あの子…

私のもっとも
大事な友人です



…



そうだ紹介が遅れました
私、フェイト・ハラオウンと言います



フェイト
そろそろなのは達の
援護に戻るか
うん



もし貴方がただ
戦い続けるだけ
じゃなく
手を取り合って
一緒に戦って
くれる時が来たら
私の名前を
呼んでくれれば
嬉しいです



なんか上手く
説明できない
んだけど
あの白い
服の子…



…?

ほむらちゃん
私…
あの子達の事
信じたい

なのはちゃん
って子が私達を
助けに来てくれた
時に見た

目が

言葉が

姿が

あんなに小さな
子なのに

凄く
力強かったのが
忘れられなくて

...

彼女らが
来た時は

ただ
ワルプルギスの夜を
倒す戦力になって
くれればいいと
思っていた
あの子達が
どんな人間であろうと
関係ないと思っていた

でも



そして

杏子や
さやか達が
見た絆

まどかが
感じた力強さ

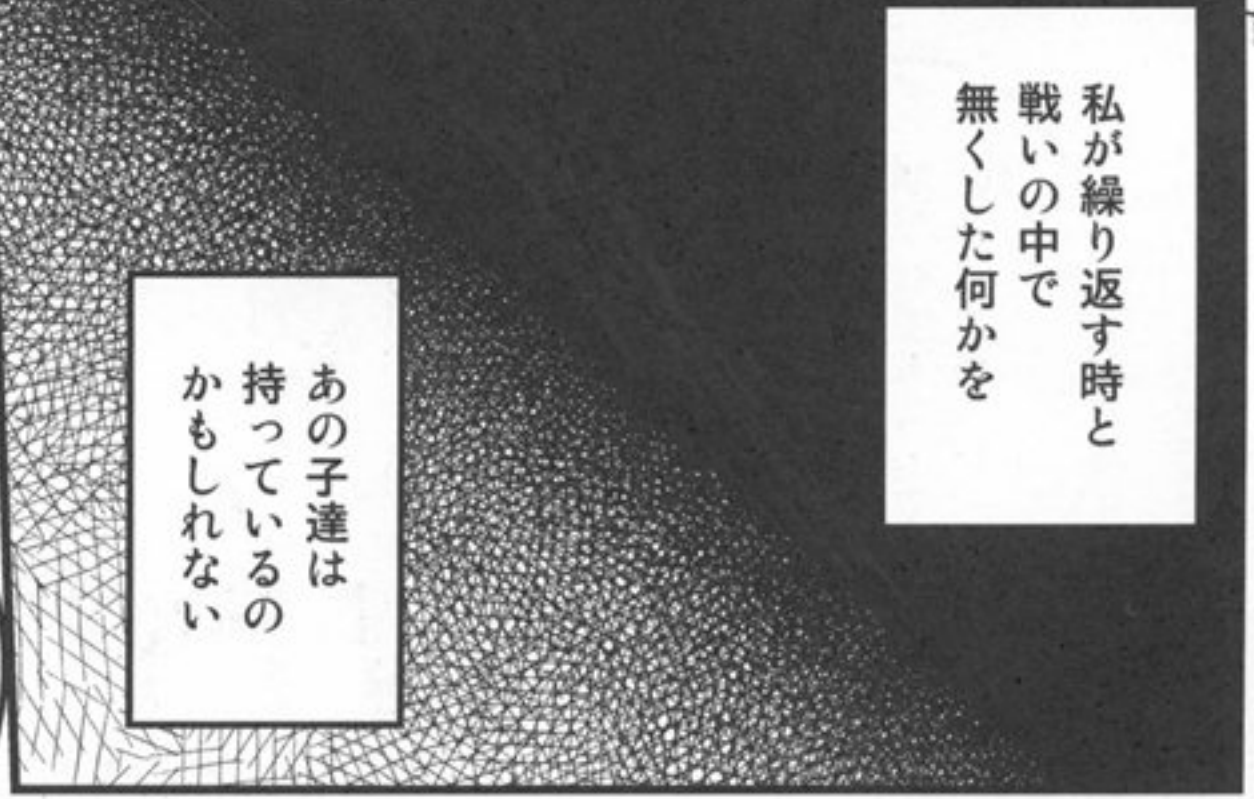


大事な友人の
名前を呼ぶ
あの子の瞳



私もー

それじゃ
行ってくるわ
まどか



私が繰り返す時と
戦いの中で
無くした何かを

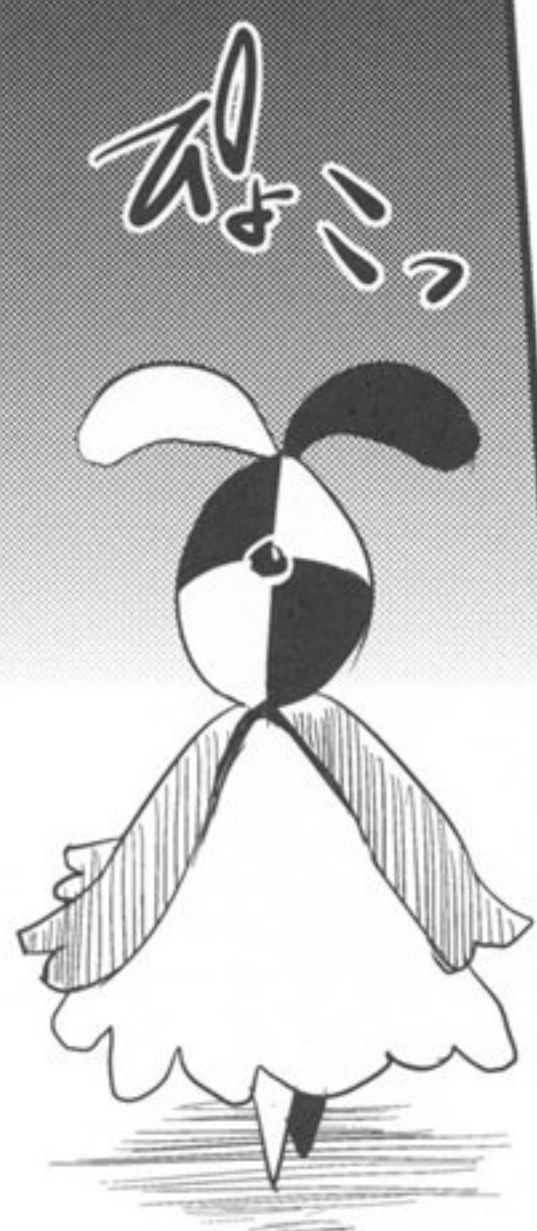
あの子達は
持っているの
かもしれない



MADOKA

X
CROSS
X

NANOHA



とっ

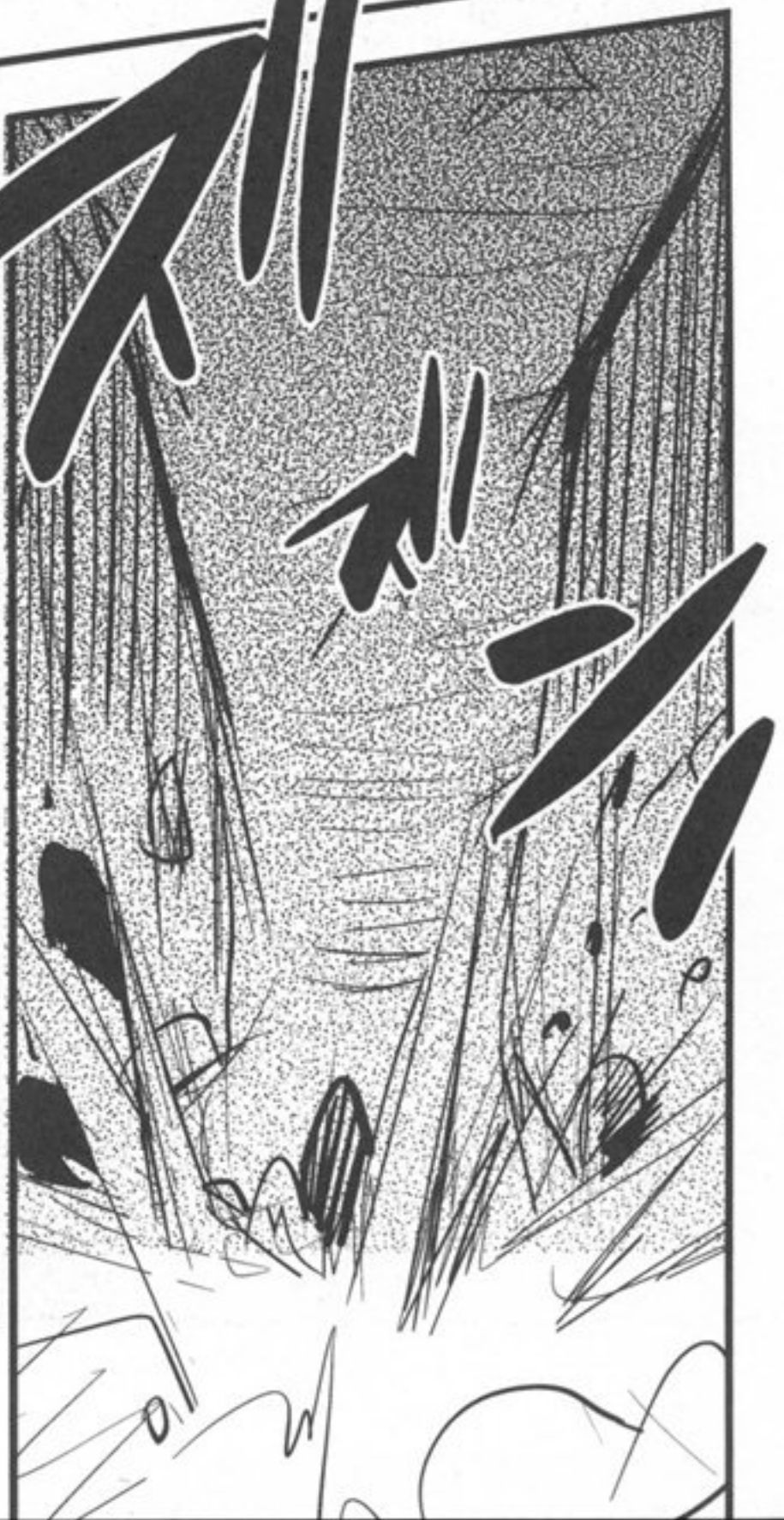
とっ

とっ



オオ
オオ
オオ
オオ

一度終演を
迎えたはずの
舞台の幕が






新たな役者を迎え
再び上がる




：暁美
ほむらよ

この子達の
力と想いが







ほむらと
呼んでくれて
いいわ




フェイト



はいっ
ほむら!!



あの時から
止まったままの
私の時間を



動かす
切っ掛けになる
可能性があるのなら

最後に
もう一度だけ



…今度こそ

自分以外の
誰かを信じて
みようと思う







決着をつける

TOP
COURT
MURDER
OF
DR. MARTIN LUTHER KING, JR.

そんなわけでまどなのエピソード03でした
やっ、描き始めた当初の目的の一つ、全員(?)集合までこぎ着けました…
最初は本当にただただ、まどか達となのは達が全員集合で
ワルプルギスの夜フルボッコ！っていう頭悪い願望だけで描き始めたこの本。
やっ、スタートラインに立った感じです。

同じ魔法少女って題材だというのに、
テーマというか、「負の感情」の取り扱い方が全然違うこの2つの作品
思った以上に自分の脳内で互いのキャラ達が歩み寄りしてくれなくて
なかなか難産でした…

心を閉ざしたまどマギキャラ達が
どこまでも真っ直ぐなのはキャラ達に
少し、心を開いたのを感じ取ってもらえてれば幸いです。

さて、ここからが本当に描きたかった所、
次回、エピソード04からは
互いに協力しあいながらの総力戦になります！
今からどんなトンデモバトルが描けるか楽しみです！！

エピソード04は冬コミ発行予定です。
全力全開でお贈りする予定なので、どうぞ楽しみに！

MADOKA×NANOHA episode 03
12.08.12
COMIC MARKET 82

MASULAO MAXIMUM
風川なぎ

<http://masulao.aquasky.jp>
masulao@uone.jp
twitterID masulao

印刷:プリントマウス様
ご意見、ご感想大歓迎